
2015 年度 功労賞

教育システム情報学会では、教育システム情報学に関する学会の諸活動に対して、著しい功労のあった会員・名誉会員・元会員に贈呈しております（原則として年度あたり2名以内）。本年度は1名の方に功労賞を授与致しました。

功労賞…吉田 覚 様



吉田覚氏は、1999年から2003年まで本学会の評議員、その後2015年まで理事として、通算16年にも渡り本学会役員を歴任されました。その間、特に人材育成委員会を中心に、新会員の募集活動や、毎年3月の学生研究発表会の全国展開をはじめとして、学会運営にさまざまな貢献されました。さらに、産学連携を進める活動で中心的役割を担われました。

2015 年度 論文賞

教育システム情報学会では、[学会誌 Vol. 30, No. 1 (2013 年) から, Vol. 31, No. 4 (2014 年) に掲載された2年間の実践論文, 実践速報, および, 英文論文誌 (The Journal of Information and Systems in Education) Vol. 12, No. 1 (2013 年), Vol. 13, No. 4 (2014 年) に掲載された2年間の Practical Paper, Report on Practice] を対象に論文賞の選定審査を行い, 最も優秀な論文に2015年度論文賞を授与致しました。

論文賞…瀬田 和久 様*, 崔 亮 様**, 池田 満 様**, 松田 憲幸 様***, 岡本 真彦 様****

論文題目: 思考外化と知識共創によるメタ認知スキル育成プログラム —大学初年次生を対象として—

掲載号等: 教育システム情報学会誌 実践論文 Vol.30, No.1, pp. 77-91 (2013)

* 大阪府立大学大学院理学系研究科/現代システム科学域

** 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科

*** 和歌山大学システム工学部

**** 大阪府立大学人間社会学部/現代システム科学域

教育システム情報学会 第40回全国大会 終了報告

全国大会委員長 小松川浩(千歳科学技術大学)

平成27年の教育システム情報学会の全国大会を、9月1日(火曜日)から3日(木曜日)の期間、「変動する社会での教育システム情報学」というテーマで、徳島大学で開催しました。

今回の大会では、プレカンファレンスに6テーマ、8セッションからなる企画セッションに31件の発表、7件の学生研究特別セッション発表、128件の口頭発表、インタラクティブ発表38件の発表で、372人の参加者に集まっていただきました。

大会初日には、新会長の仲林清先生に「実践と理論の往還」というタイトルで基調講演を頂きました。本学会の特徴を改めて参加者全員で振り返る良い機会となりました。また二日目の40周年記念シンポジウムでは、本学会で日頃から中心にご活躍頂いている、鈴木克明先生、不破泰先生、平嶋宗先生の3名に「教育システム情報学の未来の軌跡」と題してお話しを頂きました。また、最終日は、「知プラe事業シンポジウム」で、Leon Huijber先生による特別講とe-Learningを活用したアクティブラーニングに関する総合討論を行いました。これは、大会初の企画となりますが、大会との共催の形で(ポストカンファレンス的に)開催させて頂きました。最後まで、多くの大会参加者にお残り頂き、四国で行っている大学連携のe-Learningの事業に関する討議にご参加頂きました。

今回は記念すべき40周年大会開催ということで、全国大会委員会の若手の先生方(幹事・プログラム部会)を中心に新たな取り組みを積極的に実施頂きました。また、運営部会の幹事の先生方には、昨年までの実施体制をかなり組み替えたにも関わらず、大会開催までの段取り、HP、企業取り纏め、本当に細かく引き継ぎ頂きました。また学会事務局や企画委員会を初めとする各委員会のご支援により、プレカンファレンスや各種奨励も滞りなく進めることができました。さらに、徳島大学の金西先生をはじめとする現地の実行委員の皆様には、当日の会場や情報交換会の運営等、大変すばらしい「おもてなし」を頂戴致しました。改めて感謝申し上げます。

来年の全国大会は、帝京大学(宇都宮)で開催いたします。皆様方の教育システム情報学における研究成果がさらに進展し、宇都宮で再びお会いできますことを楽しみにしております。

第40回全国大会奨励賞審査結果

大会奨励賞は、教育システム情報学および関連分野における学問の発展を奨励するため、その貢献が顕著である新進の研究者に贈呈するものです。受賞時に本学会の会員(入会申請中を含む)であって、40歳を越えていない、または、本学会入会時から10年を経過していない方が対象となります。また発表論文の第一著者であり発表時において登壇者であること、直近の過去2回の大会でこの賞を受賞していないことも条件となります。

大会奨励賞審査委員会により論文審査・発表審査を行い、本大会の審査対象論文86件から、以下の論文の各第一著者を大会奨励賞に選定いたしました。

(以下は講演番号、発表題目、著者(○は受賞者)、所属の順)

A2-2 プログラミング教育における反転授業の実践と評価

○林康弘, 深町賢一, 小松川浩

【千歳科学技術大学】

A4-2 機械翻訳を用いた擬似コード生成による学習者支援

○札幌寛之, 小田悠介, Graham Neubig, 畑秀明, Sakriani Sakti, 戸田智基, 中村哲

【奈良先端科学技術大学院大学】

D4T-2 確率モデルを用いた学修状態のモデル化と学修支援

○近藤伸彦(1), 畠中利治(2)

【(1)大手前大学, (2)大阪大学大学院】

E1-1 不安全行動の疑似体験に基づく防災学習支援システム

—避難時における知識と行動の不一致解消を目指して—

○田中孝治(1), 梅野光平(2), 池田満(1), 堀雅洋(2)

【(1)北陸先端科学技術大学院大学, (2)関西大学大学院】

G5-3 知識活用力を測定するための適応型テスト

○宮澤芳光(1), 住政二郎(2), 植野真臣(3)

【(1)東京学芸大学, (2)関西学院大学, (3)電気通信大学】

教育システム情報学会 (JSiSE) 2015年度 第4回研究会 ご案内

担 当：三石 大, 光原 弘幸, 佐々木 整 (研究会委員会)
会場担当：佐藤 究, 高木 正則 (岩手県立大学)

- テーマ：新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン/一般
- 開催日：2015年11月21日(土)
- 会 場：岩手県立大学アイーナキャンパス

(JR盛岡駅西口徒歩4分・いわて県民情報交流センター 7F)

<http://www.iwate-pu.ac.jp/outside/aina/toppage.html>

■ 趣旨

昨今のスマートフォンやタブレット端末の普及に加え、クラウドコンピューティングや IoT 技術も身近なものとなり、ICT を活用した新しい教育・学習環境の可能性がますます広がりつつあります。このような新技術を利用した教育・学習環境の構築や様々な先進的な取り組みに止まらず、教育・学習環境の可能性を拓げる要素技術の開発、スマートデバイスを効果的に活用するためのクラウドコンピューティングなどの情報基盤に関する研究などに対する期待も一層大きなものとなってきています。

そこで、2015年度第4回研究会では、新技術の開発やそれらを発展させる技術開発はもとより、それらを利用した教育・学習環境の提案やその開発、実践、そのための教育システムや基礎技術の開発、ならびに将来の教育・学習手法に関する幅広い研究発表を募集しました。

■ 主な対象：

- スマートデバイスと Web 環境の連携等の新しい学習形態と手法に関する研究・開発
- IoT やクラウドコンピューティングによる新しい教育・学習環境のデザイン、活用に関する研究
- Web や携帯ネットワーク、センサーネットワーク、アドホックネットワーク等を活用した新しいネットワーク活用・教育手法に関する研究・開発
- ネットワークコンピューティングを活用した新しいデバイス技術に関する研究・開発
- 新しい教育・学習環境と学習効果・教育効果に関する研究
- スマートデバイスを活用した協調学習、アクティブラーニングに関する研究
- その他教育システム/eラーニング一般

■ お問い合わせ、発表申込、原稿提出先：

第4回研究会担当委員(代表：東北大学 三石 大)

E-mail: jsise-4th-2015@stein.cite.tohoku.ac.jp

※プログラムの詳細については近日確定致します。確定次第、研究会 Web ページ (<http://www.jsise.org/society/committee.html>) に掲載しますので、そちらをご確認ください。

特集号論文募集

— 能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践 —

近年、PBL (Project/Problem-based Learning)、反転学習など、学習者の能動的な学習を促すための学習・教育手法やその中での ICT の活用が注目されています。大学だけではなく初等・中等教育機関においても、組織的にこのような学習形態を取り入れる事例も増加しています。また、職場での学びやアルバイト・ボランティアなどインフォーマルな経験を通じた学びの重要性に関する認識も高まっています。

これらの学習・教育は大きな効果が期待される一方で、綿密な教授設計を行わないと、かえって教育効果が低下してしまうことも起こります。また経験を通じた学びは偶発的な要因に左右されるため、教育効果を担保することは非常に困難です。

以上のような状況を踏まえ、今回、「能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践」に関する特集号を企画いたしました。当該分野における新たな教育支援技術、ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

「能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・支援」に関する研究論文を幅広く募集します。キーワードは、次の通りですが、これに限定されるわけではありません。また、「能動的な学び」、「自律的な学び」のいずれかに関わる学習支援環境の研究であれば、本特集号の対象となります。

アクティブラーニング、自己調整学習、Project-Based Learning、Problem-Based Learning、反転授業、オンデマンド学習、学習空間デザイン、インフォーマルラーニング、経験学習、CMC(Computer-Mediated Communication)、ソーシャルメディア、ソーシャルラーニング、コミュニケーション支援、学習ポートフォリオ、学習ログ収集・分析、協調学習、協働学習、CSCL/S、インストラクショナルデザイン、FD/SD、LMS/CMS、ブレンディッドラーニング、モバイル端末、授業支援、レスポンスシステム、オープンエデュケーション、MOOCs、ピアレビューなど

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで

確認してください。 Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集研究会（2016年3月19日（土）開催予定）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。
- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。

英文誌ホームページ：http://www.jsise.org/journal/journal_en.html

4. スケジュール

- 特集研究会：2016年3月19日（土）
会場：東京工芸大学中野キャンパス
発表申込締切：2016年1月中旬／原稿提出締切：2016年2月初旬
- 投稿論文原稿〆切：2016年6月6日（月）
- 掲載予定巻号：2017年4月1日発行予定の学会誌（Vol.34, No.2）
（採録通知送付予定：2016年11月初旬頃）

5. 特集号編集委員会

委員長：小西達裕（静岡大学）

副委員長：瀬田和久（大阪府立大学），西野和典（九州工業大学）

幹事：笠井俊信（岡山大学），光原弘幸（徳島大学），國宗永佳（信州大学）

委員：学会誌編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：
特集号編集委員会副委員長 瀬田和久（大阪府立大学）
E-mail: seta@mi.s.osakafu-u.ac.jp
- Web 投稿に関する問い合わせ：
教育システム情報学会編集事務局
電話：03-5389-6492, E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

東海支部より活動報告

[勉強会]

■日時：2015年8月8日(土)15時より

■会場：名古屋工業大学

■概要：

全国大会プレカンファレンスへの応募企画「eラーニング教材の蓄積を活用した大学教育・生涯学習における新しい学習形態に向けて(2)」に向けて、参加者5名で勉強会を開催した。当日は、プレカンファレンスのオーガナイザ(名古屋文理大：山住富也)から「iPadと活用した反転授業の試み」が報告された。また、共同研究の推進に関する討論を行った。

[勉強会]

■日時：2015年7月11日(土)15時より

■会場：名古屋工業大学

■概要：

全国大会プレカンファレンスへの応募企画「eラーニング教材の蓄積を活用した大学教育・生涯学習における新しい学習形態に向けて(2)」に向けて、参加者7名で勉強会を開催した。当日は、プレカンファレンスのオーガナイザから提供予定の「現実データによる教材整備—もうひとつの統計教育のために」、 「基礎物理学の反転授業の構想」、 「テンプレートを用いた卒業論文執筆指導—moodleを活用したScaffolding—」、 「学生の学習意識と学習達成度評価」が報告された。また、支部企画委員から、共同研究の推進についての提案があり、次回勉強会にて参加者の自己紹介・研究紹介をすることとなった。引き続き議論を進めるために次回の勉強会開催(8月8日)を決めた。

関西支部より活動報告

【2015年度第1回若手研究者フォーラム(Azure ハンズオン)】

- 日時：2015年5月24日(土) 10:00-12:15
- 会場：大阪電気通信大学 駅前学舎 1F101 多目的ホール
- 概要：

関西支部では、若手研究者(院生含む)の育成を目的として、年に2回、フォーラムを開催している。第1回フォーラムでは、講師に、廣瀬一海氏(アイレット株式会社クラウドバック事業部/Microsoft MVP for Microsoft AZURE)をお招きし、AZUREのハンズオンを行い、30名の若手研究者、院生や学部学生、企業の方などに来ていただき2時間で、AZUREの概要説明およびブログの立ち上げまでを体験した。

関西支部主催 「2015年度第2回若手研究者フォーラム」の開催について (第1報)

関西支部では、若手研究者(院生含む)の育成を目的として、年に2回、フォーラムを開催しており、第2回目は、研究発表をメインに以下の通り行います。以前より各支部との若手の交流を考えており、今回は九州支部にお願いし、実現することとなりました。若手研究者諸君の研究発表をお待ちしております。主催は関西支部ですが、ぜひ様々なところからお集まりくださいますよう、よろしく願いいたします。

- 日時：2015年11月1日(日) 09:30～(予定)
- 会場：日本文理大学 湯布院研修所
- 問い合わせ先：西端律子(畿央大学) (r.nishibata@kio.ac.jp)
- 情報提供用サイト：<http://nakama.atlab.org/mod/resource/view.php?inpopup=true&id=562>
(関西支部ページよりリンクしております)
- 参加費用：無料(交通費、宿泊費、食事代は各自負担)

- *基本的に発表のみで、発表論文等などの提出・発行はありませんので、気軽にご応募ください。
- *学生諸君への補助を現在検討しています。
- *前日の10月31日(土)は同会場にて「電子情報通信学会 ET 研」が開催されています。
- *31日(土)には、ET 研と合同で懇親会(前夜祭)も予定しています。

教育システム情報学会 2015 年度第 3 回研究会報告

担当委員 小西達裕(静岡大学), 林敏浩(香川大学), 安間文彦(サイバー大学)

- テーマ: 先進的な第二言語学習支援システム/一般
- 開催日: 2015 年 9 月 19 日 (土) 9:15~16:45
- 会場: 静岡大学浜松キャンパス情報学部 2 号館 2 階 情 21 教室
- 概要:

2015 年度第 3 回研究会を 9 月 19 日 (土), 静岡大学浜松キャンパス (静岡県)にて開催いたしました。参加者は 33 名でした。今回のテーマは「第二言語 学習支援/一般」です。発表全 14 件中 8 件が第二言語学習支援に関する研究 であり, 一般テーマは 6 件でした。先端的技術を活用したシステムの開発研究, 特色ある教育プロジェクトの実践報告など, 本学会らしく理論から応用まで幅広い内容のご発表をいただきました。会場では発表後も熱心な意見交換が行われ, 活気あふれる研究会となりました。

— 2015 年度 研究会開催予定 —

第 1 回研究会 (担当: 仲林清, 松居辰則, 北村士郎, 真嶋由貴恵, 加藤泰久, 櫻井良樹) ◆テーマ: e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント/ 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育/一般 ◆日 程: 5 月 23 日 (土) ◆場 所: 千葉工業大学	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 終了 </div>
第 2 回研究会 (担当: 小松川浩, 野崎造成, 布施泉, 不破泰) ◆テーマ: ICT を活用した学習支援と教育の質保証/一般 ◆日 程: 7 月 4 日 (土) ◆場 所: 北星学園大学 ※日本教育工学会研究会と同日開催	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 終了 </div>
第 3 回研究会 (担当: 小西達裕, 林敏浩, 安間文彦) ◆テーマ: 第二言語学習支援/一般 ◆日 程: 9 月 19 日 (土) ◆場 所: 静岡大学 (浜松キャンパス)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 終了 </div>
第 4 回研究会 (担当: 三石大, 光原弘幸, 佐々木整) ◆テーマ: 新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン(予定)/一般 ◆日 程: 11 月 21 日 (土) ◆場 所: 岩手県立大	
第 5 回研究会 (担当: 曾我真人, 柏原昭博, 小尻智子, 長谷川忍) ◆テーマ: 身体知・スキル支援/一般 ◆日 時: 2016 年 1 月 30 日 (土) ◆場 所: 関西大学	
第 6 回研究会 (担当: 西端律子, 西野和典, 鷹岡亮, 中村勝則) ◆テーマ: 21 世紀型能力と情報教育/一般 ◆日 程: 2016 年 3 月 19 日 (土) ◆場 所: 東京工芸大学 ※特集論文研究会と同時開催を予定	

学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは

学会誌・研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階
TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555
Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

- JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。
この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。
- 年間購読料 4,000 円/年 6 回発行<送料込>

新 入 会 員 募 集

一般社団法人教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的に関催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌、研究報告書(年間購読お申し込みの方)などがお手元に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書を学会 Web ページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので(PDF ファイル)ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、事務局分室にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料にせて頂く**というキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。

■学会事務局分室■

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
一般社団法人教育システム情報学会 事務局分室 宛
TEL 03-5937-5816
FAX 03-3368-2822
Email : secretariat@jsise.org

再度お知らせいたします

事務局より

教育システム情報学会会員 各位

一般社団法人教育システム情報学会
会長 仲林 清
事務局長 家本 修

会費納入のお願い

教育システム情報学会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学会の活動にご理解、ご協力賜り、誠にありがとうございます。

2015年度の年会費請求書に関しましては以前ご案内させて頂いた通り、2015年4月1日付にて発行いたしました。まだ、会費納入手続きを済まされていない会員の皆様におかれましては、以下の会員専用ページから会員様ご本人により、ダウンロードしていただきますようお願いいたします。また、ご納付には、クレジットカードでのお支払いをお薦めしております。是非ご協力頂きますようお願いいたします。

年会費未納の会員様につきましては、2014年度以前の未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、定款の定めにより除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局分室までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願い致します。

会員専用ページのご案内

会員専用ページ URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております、株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジットカード/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが下記事務局分室までご連絡をお願い致します。

ログインには、名簿システム(2015年1月にログイン)でご利用いただいたIDとパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。

何かご不明な点がございましたら、JSiSE事務局会員窓口(secretariat@jsise.org)までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくようお願い申し上げます。

■お問い合わせ先

教育システム情報学会(JSiSE事務局分室)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email: secretariat@jsise.org

事務局移転 および 事務局業務委託のご案内

拝啓 錦秋の候 会員の皆様にはますますご活躍の事とお慶び申し上げます

平素は格別のご愛顧を賜り 厚く御礼申し上げます

さて このたび 事務局を下記へ移転するとともに、事務局業務の一部を株式会社国際文献社に委託し、事務局分室を設ける事となりましたので、謹んでご案内を申し上げます

今後お問い合わせなどは、事務局分室にお願いいたします

今後とも何卒変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます
まずは略儀ながら書中にてご挨拶申し上げます

敬具

平成 27 年 9 月

一般社団法人 教育システム情報学会
会 長 仲 林 清

～ 新住所 ～

【事務局分室】

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

TEL : 03-5937-5816

FAX : 03-3368-2822

URL : <http://www.jsise.org/>

MAIL : secretariat@jsise.org

【事務局】

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1 大阪府立大学 真嶋研究室内

業務開始日 平成 27 年 10 月 1 日